

製品・サービス動向-国内

■VQS：WEB会議システム・遠隔授業システム「VQS コラボ」、クリップボード「PHU-111」対応

(11月12日)

VQS株式会社 (<https://www.vqs.co.jp/>) (東京都新宿区) は、WEB会議システム・遠隔会議システム「VQS コラボ」(開発元：株式会社オサムインビジョンテクノロジー) が株式会社ワコム (<https://www.wacom.com/ja-jp>) (埼玉県加須市) の販売するクリップボード「PHU-111」に対応(11月12日)したことを発表した。



VQS コラボ (交流タイプ)

ワコム クリップボード
「PHU-111」 (A4サイズ)

(VQS)

PHU-111は、普通紙に専用ペンで書き込むことでリアルタイムに文書をデジタル化することできる手書き入力デバイス。VQS コラボ組み合わせて利用することで、PHU-111で普通紙に書き込んだ内容が、遠隔地のVQS コラボのホワイトボード上でリアルタイムに共有できる。

VQS コラボは、マルチデバイス対応で、多地点間での映像・音声・資料を使ったリアルタイムコミュニケーションを実現するツール。FM放送・CDに匹敵するきれいな音質で、低帯域でも安定した動作を実現する通信帯域制御機能を搭載している。用途・帯域に合わせたさまざまなタイプの会議室を提供しており、教育事

業向けバージョンも用意している。

一方、PHU-111は、A4/レターサイズに対応した、滑らかな書き味を実現し、専用ペンの電池交換も不要な利便性の高い手書き入力デバイス。クリップボードに組み込まれているバーコードスキャナーにより紙の帳票とデジタル帳票を自動的に同期したり、オーサリングツールで帳票のレイアウトやデジタルデータの作成が可能になっている。また、ホストとなるモバイルデバイスやPCとは、BluetoothもしくはUSB

(WindowsPCのみ)とのペアリングにより接続を行う。暗号化によるデータの保護などにも対応している。

これまでVQSでは特に学習塾・予備校をはじめとする教育事業者が行う遠隔授業での手書き入力の重要性を提案してきた。VQS コラボとPHU-111を組み合わせた遠隔授業では、対面指導を受けているかのような質の高い授業を提供できる。たとえば、算数や数学の授業における難解な数式や図形の指導、あるいは国語の授業では生徒の書いた漢字の書き順の指導など、普段通りの授業が行えるとしている。加えて、授業後には紙に書き込みをした内容が手元に残るため、生徒は振り返りに活用することができる。

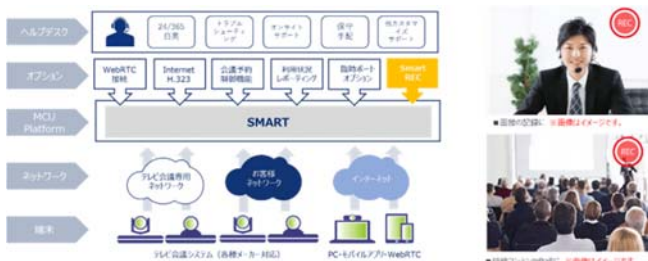
利用にあたっては、VQS コラボの契約が必要。ただしすでに契約中のユーザはシステムのバージョンアップで使用可能となる。

VQSは、遠隔コミュニケーション VQS コラボの企画・販売・サポートおよび関連するサービス、ソフトウェア・ハードウェアの販売を行っている。設立は2016年3月24日。

■NTT ビズリンク：クラウド型映像コミュニケーションサービスに録画機能をオプションとして追加

(PRTIMES:11月14日)

エヌ・ティ・ティ・ビズリンク株式会社 (<https://www.nttbiz.com/>) (東京都文京区)は、クラウド型映像コミュニケーションサービス「SMART Communication & Collaboration Cloud(SMART C&C)」に新たに会議模様を録画できるオプションサービス「Smart REC」を追加した。



SMART C&C サービスイメージ (NTT ビズリンク)

SMART C&C は、NTT ビズリンクが提供する、テレビ会議システム (H.323)、PC、タブレット・スマートフォン、「Skype for Business」、さらに Web ブラウザから参加できるのが特徴。

今回の録画オプションの追加により、映像コミュニケーション模様を録画・アーカイブ化し、リアルタイムで参加できなかった社員などが会議や研修の模様を後日視聴することが可能になるという。Smart REC は冗長構成を持ち、ビジネスシーンでの利用に最適な信頼性の高い録画オプションという。

SMART C&C は、テレビ会議や Web 会議の枠を超えて、日本企業の日々の活動を支える総合的なコミュニケーション基盤を目指している。同社は、20 年間答えてきた顧客の声と、未来の働き方・ビジネス環境から考える「お客様が本当に必要な機能」SMART C&C に続々盛り込んでいくという。

なお、同社はビデオ会議接続サービスで 5 年連続シェア 1 位 (株式会社シード・プランニング調べ) と

いう。

ビジネス動向-国内

■三菱地所とブイキューブ：テレキューブを使った働き方改革推進の実証実験を開始

(11月6日)

三菱地所株式会社 (<http://www.mec.co.jp/>) (東京都千代田区) と株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都目黒区) は、テレワークのためのコミュニケーションブース「テレキューブ」を活用した実証実験を 11 月下旬 (予定) より開始する。

実証実験は、大手町パークビル、新丸の内ビル、新東京ビルといった、三菱地所が保有する東京丸の内エリアの三つのオフィスビルのエントランスなどにテレキューブを設置し、多くの働く人たちに利用してもらうことを通して、テレワーク空間の需要および利用状況の把握を目的として行う。



設置イメージ (大手町パークビル 1 階) (ブイキューブ)

利用方法は、法人単位で専用ウェブページから利用登録をし、そしてスマートフォンやパソコンから利用するテレキューブの予約をオンラインで行う流れ。また予約したテレキューブはスマートフォン (QR コード) で開錠して利用する。利用時間に応じた課金方式となっている。

期間は 2018 年 11 月下旬 (予定) から 2019 年 3 月

31日（予定）。利用時間は平日8時から19時まで。15分250円。支払いは法人請求方法による。なお、個人でのクレジット決済については対応を検討する予定となっている。

今回の実証実験は、各社の技術やノウハウを活かし、実施、運営する。テレキューブ本体については株式会社樹楽製作所、株式会社オカムラ。予約システムの開発・運用およびテレキューブの鍵制御IoTシステムの開発と提供はKDDI株式会社。監視カメラと監視システムについては総合警備保障株式会社（ALSOK）。ネットワーク機器については株式会社アイ・オー・データ機器。パソコンとモニターについてはレノボ・ジャパン株式会社。

テレワークの普及は働き方改革に最も有効な手段のひとつとして注目が高まっている。しかし、テレワークに利用されることの多いカフェやサテライトオフィスといった空間はセキュリティの面で課題があるという。秘匿性のある情報を取り扱いながらの資料作成や電話などに適しておらず、テレワークするための理想的な場所が不足しているのが現状という。こういった課題に対して、防音性が高く十分にプライバシーが確保された環境を提供するテレキューブを使った実証実験を今回実施することにした。

■ブイキューブが提供する「テレキューブ」、東日本旅客鉄道が開始するシェアオフィスの事業展開を目指した実証実験に採用

（11月7日）

株式会社ブイキューブ（<https://jp.vcube.com/>）（東京都目黒区）の発表によると、東日本旅客鉄道株式会社（<http://www.jreast.co.jp/>）（東京都渋谷区、以下 JR 東日本）が開始するシェアオフィスサービス「STATION WORK」の実証実験で設置されるパーソナルスペース「STATION BOOTH」の筐体として、ブイキューブの製品である「テレキューブ」が採用された。

JR 東日本では、働き方改革・生産性向上サポートなどを目的として、駅ナカなどにおけるシェアオフィスサービス STATION BOOTH の事業展開の検討を進めている。特に駅という移動時間ロスが少ない駅ナカにおいて STATION BOOTH を中心とした快適なパーソナルスペースを提供することで、効率的な時間の過ごし方を提案し、働き方改革という社会課題の解決を目指している。



テレキューブの新モデルをベースにした STATION BOOTH（ブイキューブ）

今回の実証実験では、働く人が移動と移動の間隙時間を有効に活用することで、どのように働き方が変わったか、どのような利用シーンに活用されたかなど、さまざまな観点からユーザのニーズを分析する。

この STATION BOOTH は、新たに公共スペース向けに仕様を拡張したテレキューブ。筐体にモニターや椅子、電源タップなどを備えているほか、駅構内での利用に求められる、スマートフォンなどで入退室ができる予約システムなどを搭載している。

ブイキューブは今回の実証実験を通じて、今後も JR 東日本と協力しながらテレキューブの社会への普及を進めるとともに、働き方改革に求められるソリューションの開発に取り組んでいく。

ビジネス動向-海外

■Videxio 社と Pexip 社:両社の合併を発表、クラウドからオンプレミスまで幅広いニーズに対応したビデオ会議プラットフォームをワールドワイドに提供

(10月8日)

Videxio 社 (<https://videxio.com/>) (ノルウェー・オスロー)と Pexip 社 (<https://pexip.com/>) (ノルウェー・オスロー) の2社は合併することで両社が合意したと発表。

Videxio 社は、スタートアップから大企業まで対応した、クラウド型ビデオ会議サービスを提供するサービスプロバイダーとして2011年に設立。設立後、2014年には事業は黒字に転換。それまでの3年間と比較し、年間経常収益 (Annual Recurring Revenue, ARR) が270%も拡大し、有償利用のユーザのトラフィックも875%増えた。

Pexip 社は、2012年に設立。ソフトウェアベースのミーティングプラットフォーム「Pexip Infinity」を開発・提供している。Pexip Infinityはクラウドサービス事業者向けに対応しているとともに、オンプレで使用するエンタープライズ向けにも最適化されているソリューションとなっている。「Skype for Business」や「Microsoft Teams」との相互接続性がマイクロソフトより認証されているソリューションであり、2018年にはグーグルとも提携し、「Google Hangouts Meet」との相互接続も実現している。同社事業は2014年から2015年の3年間でARRが3倍になっており、2016年から黒字を達成している。

なお、Videxio 社、Pexip 社、両社とも株式非公開企業として事業を行っている。

今回、合併に至った理由として、ビデオ会議システムがオンプレミス型からクラウド型まで幅広く利活用が広がっている市場に柔軟に対応するためと同社では

説明する。

「急速に拡大するクラウドによってビデオ会議を利用できる環境が整ってきている。だが、一方でオンプレミス型に対する需要もまだまだ多い。その上、柔軟なクラウドサービスへの要望もある。これらのニーズに対応していく狙いが今回の合併にはある。」(Pexip) クラウドに強みを持つ Videxio 社とプラットフォームに強みを持つ Pexip 社が合併することで、製品からサービスまで幅広い充実したポートフォリオを展開できるというわけだ。

「持っている技術、市場での立ち位置、働く人達、企業文化といったところから考えると、両社はとても相性がいい (a great fit) と考えている。」(Videxio) 合併後の社名は Pexip 社となる。CEO には Pexip 社の CEO Odd Sverre Østlie 氏、また Videxio 社の CEO Tom-Erik Lia 氏は CCO (チーフコマースオフィサー) にそれぞれ就任する。これまで通り 195 か国で利用される両社の製品とサービスは、世界 300 社のパートナーとも連携して展開していく。

今後、関係行政機関や株主総会など合併に伴う各種手続きがこれから行われ、2018 年年末には完了する予定となっている。

PR

(広告掲載順)

■ヤマハ株式会社

USB スピーカーフォン FLX UC 500

https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/flx_uc_500/index

セミナー・展示会情報

<国内>

■ブイキューブセミナー情報（11月～12月）

「働き方改革セミナー 失敗しない「Web会議」「テレビ会議」選び方徹底解説」「<スマートグラス体験セミナー>ハンズフリーで現場作業を遠隔支援！」「2分でかんたん動画作成 社内動画活用で働き方改革を推進！」など
会場（東京・大阪・名古屋・福岡・Webセミナー）

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■<Cisco 協賛>Meetings・Teams がわかる！

なるほど「Cisco Webex」まるわかりセミナーを開催します！

日時：11月20日（火）・21日（水）・22日（木）

15：00～

会場：VTV ジャパン デモルーム（東京・大阪）

主催：VTV ジャパン株式会社

詳細・申込：<https://www.vtv.co.jp/seminar/1811vtv/>

■手軽にはじめられるテレビ会議・Web会議システムのご紹介～RICOH UCSで、いつでも・どこでも、だれでも・だれとでも繋がります！～

日時：11月29日（木）午後 1時間のセミナーを2回開催（同内容加）。

会場：リコージャパン 晴海トリトン事業所

主催：リコージャパン株式会社

詳細・申込：

<http://www.ricoh.co.jp/event/seminar/18S074.html>

■手軽にはじめられるテレビ会議・Web会議システムのご紹介～RICOH UCSで、いつでも・どこでも、だれでも・だれとでも繋がります！～

日時：12月12日（水）午後 1時間のセミナーを2回開催（同内容加）。

会場：リコージャパン 晴海トリトン事業所

主催：リコージャパン株式会社

詳細・申込：

<http://www.ricoh.co.jp/event/seminar/18S130.html>

■手軽にはじめられるテレビ会議・Web会議システムのご紹介～RICOH UCSで、いつでも・どこでも、だれでも・だれとでも繋がります！～

日時：12月26日（水）午後 1時間のセミナーを2回開催（同内容加）。

会場：リコージャパン 晴海トリトン事業所

主催：リコージャパン株式会社

詳細・申込：

<http://www.ricoh.co.jp/event/seminar/18S131.html>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dtc-forum）

<http://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

■PDFファイル版（1号毎PDFファイル）

>2003年～2018年最新号（1号毎PDFファイル）

<http://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

■電子ブック版（複数号まとめているものもあります）

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2017年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2018年11月15日号おわり

ホームページ: <http://cnar.jp> お問い合わせ: cnar@cnar.jp